

海と山を繋ぐ

いにしえの道

いやの峠茶屋跡からの熊野灘

いやの峠越え中間にある道標

この神上へ、木本から各種物資を運搬するには、...木本で獲れた鮮魚を、天秤棒で担いで運ぶ、魚商も幾人かあった。...里程は、4里と20町、男の早足で約3時間半だった。いやの峠茶屋、ここまでのぼればやれやれで、漸く夜のしらむころ、ここで提灯の灯りを消し、茶屋で小憩した。このあたりは鬱蒼たる杉木立で、この美林を下れば、やがて長原、そして神上に着いた。

大馬～深沢峠の中間にある地蔵

—地蔵は、大馬と深沢峠の中間部。台座に嘉永二酉(1849)十二月再建とある。左の首なし地蔵(刻字なし)に替わり再建されたもの—



熊野古道からのてがみ

43 通目

熊野市内に残る「県境」

小学生の頃、熊野川に架かる熊野大橋の県境を越える瞬間、とても興奮したことを覚えています。熊野市は、江戸時代、紀州藩に属していたことは、誰もが知る処です。紀州藩は、伊勢国田丸や松坂、飛び地の白子も領地でした。対外的には、紀州藩は、紀州徳川家の領地ですが、実際は、付家老の安藤家田辺領や水野家新宮領があり、熊野市は、紀州本藩領と水野家新宮領に分かれています。

学生の頃に履修した日本法制史。手塚豊先生の廃藩置県の解説が、とても興味深かったことを思い出します。県名と県庁所在地の名が同じ所は、明治新政府側というところで、御三家の和歌山県は例外で、優秀な家来が、新政府に謝罪したことで、名草県が有力候補だった中、「和歌山県」になったというところでした。「私だったら、熊野県」って付けたらうな」と。この講義を受講して以来、郷土「熊野」の地名をとっても誇らしく思うようになりま

明治の時代になって、新宮水野家は念願の大名藩屏に列したとなり、紀州藩より独立し、新宮藩が誕



生しました。そして、廃藩置県により、ほんの短い間でしたが、本藩領の木本は和歌山県、新宮領の井戸・有馬等は新宮県に属することになりました。

木本の本町通りを歩いていくと、新出町に稲荷神社があります。その近くに、とてもきれいに敷きつめられた石畳を見つめることが出来ます。それは、かつての新宮県と和歌山県の県境の跡でした。



和田 利信さん
 (熊野市)
 熊野市立井戸小学校教諭、
 熊野市文化財専門委員、
 水野一族研究会事務局長

筆リレー
 次は熊野市の
 倭 英生さん

花尻 薫からの季節のたより No.43

ハマアザミは海辺に育ちますから潮風に強い、たくましい葉を持っています。別の名前はハマゴボウといい、根は牛蒡(ゴボウ)のように直根で地中に深く入り食べられます。分布は静岡県以西の四国・九州の太平洋側です。普通のアザミ類は上に高く伸びて直立型ですが、このハマアザミは高くならず地面の表面で成長する植物です。潮風が大変強いので、このような姿になったのだと思います。



7月から9月にかけて茎の上部に多数に分散し、その先端に花をつけます。この花は直立したように見え、ハマアザミの特徴が見られます。時々白い花をつけますので、これをシロバナハマアザミと

ハマアザミ キク科

名前がつけられているそうです。関東方面や富士山に生えるフジアザミの根は皮を食用にするそうです。又、本州・四国・九州の向陽の草原に生えるというモリアザミ(一名ゴボウアザミ)の根は太くて直径2cmほどになり、その地方の人々は、このモリアザミを栽培して味噌漬けにし、ヤマゴボウの名前をつけて販売しているそうです。アザミの種類は非常に多く、色々の種類があるそうです。アザミの分布は種子につく綿毛が、風によって運ばれて増えていくのではないかと考えられています。

センター敷地内『夢古道おわせ』へぜひお立ち寄りください!

お母ちゃんのランチバイキング
 営業時間: 11:00~14:00
 料金: 中学生以上...1,200円
 小学生以上...700円
 4歳~小学生...300円
 4歳未満...無料
 60歳以上...1,000円
 尾鷲、東紀州の食材をふんだんに使った、地元のお母さんの味です。

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」
 深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラルが豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。
 開館時間: 10:00~21:00
 入浴料: 一般...600円
 65歳以上...500円
 4歳~小学生...300円
 4歳未満...無料

お風呂がよりは、カフェでゆったり♪
 営業時間: 9:00~17:00
 (カフェラストオーダー 16:30)

毎月26日は風呂の日 お子様は通常300円が100円でご利用できます。



●お車で越しの方は...
 尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分)
 ●電車で越しの方は...
 JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車
 尾鷲駅下車→「熊野古道センター」行 終点下車(約2時間)
 ※平成29年6月10日現在

熊野古道センターニュースレター
 熊野古道センターからのてがみ

- 2017年 夏号 ●
- 発行日: 2017年6月10日(季刊)
- 編集・発行: 三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史文化ネットワーク)
- 編集担当: 藤本
- 連絡先: 〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
 TEL 0597-25-2666
 FAX 0597-25-2667
 Mail info@kumanokodocenter.com
 HP http://www.kumanokodocenter.com/
- 開館時間: 午前9時~午後5時
- 入場料: 無料
- 休館日: 12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道 伊勢路 通行止めのお知らせ
 熊野古道伊勢路の以下の峠道が通行止となっております。
 「横垣峠道」
 (南牟婁郡御浜町阪本地区~神本地区)
 ※平成29年6月10日現在
 6000170610MF

旬の企画展
Event Info.

企画展 4人のアーティスト展
熊野で出会う

熊野出身のアーティスト4人による作品展を開催します。活動拠点や制作スタイルが異なる4人が、生まれ育った熊野の豊かな自然や暮らしをテーマに制作した作品が並びます。

会期:7月1日(土)~8月20日(日) ※会期中無休
時間:午前9時~午後5時
入場料:無料
場所:企画展示室

付属事業 ①
紙芝居作り体験
作って知ろう! **熊野に伝わる民話**

日時:7月8日(土) 午前10時~12時
参加料:500円(材料費含む) 募集期間 ~6/25(日)
定員:20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所:体験学習室
講師:坂口 けい子氏(画家)

付属事業 ②
ウッドクラフト体験
大漁旗を掲げよう! **端材で作るヒノキ船**

日時:7月29日(土)・30日(日)
午前の部:午前10時~12時、午後の部:午後1時~3時
参加料:1,000円(材料費含む) 募集期間 6/29(土)~7/16(日)
定員:80名(20名×4回)(要申込・応募多数の場合抽選)
対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所:体験学習室
講師:玉置 りさ氏(陶芸作家)

特別展示室 企画展
貝殻から見えるもの

熊野灘をはじめ、日本各地や海外に生息する貝殻標本を展示します。分類や生態、暮らしと貝との関りのついても紹介します。

会期:6月17日(土)~9月3日(日)
時間:午前10時~午後5時
入場料:無料
場所:特別展示室

ロビー展 **まちかど博物館展** 7/22(土)~7/30(日)

東紀州の文化や風土から生まれ、地域が育んだ『まちかど博物館』を紹介し、まちかど博物館に展示してある個人の貴重なコレクションや優れた手仕事などの品々を一堂に展示します。

時間:午前9時~午後5時 入場料:無料 場所:交流棟

主催:東紀州まちかど博物館紀南地区運営委員会
共催:三重県立熊野古道センター、紀北地域活性化局

その他 **Guide&Tips** 身近な貝の話 ~シジミとアサリ~

シジミは、淡水(川や湖)と海水が混じりあう汽水域に生息しています。名前の由来は殻が小さく、縮んでいる様に見える「ちぢみ」から「しじみ」になったと言われています。一方、アサリは海水域に生息しています。魚介類を探しとるという意味の「漁る(あさる)」が由来です。かつてはこの内湾でも、干潟を掘ればざくざくと獲れる状態だったでしょう。したがって、干潟を漁ると容易に獲れる貝という意味なのです。

シジミ アサリ

第11回 **熊野古道フォトコンテスト** 作品募集

●応募期間:平成29年7月1日(土)~平成29年12月15日(金) 郵送の場合、当日消印有効。熊野古道センターへの持参の場合、17時まで

●応募テーマ:熊野古道伊勢路“道”の魅力を伝える
あなたが伝えたい“道”の素晴らしさ、未来へつなげる“道”の大切さを表現した写真作品。

●サイズ:モノクロ・カラー共、四切・四切ワイド・A4

●審査委員:竹内 敏信氏(公益社団法人日本写真家協会会員、熊野古道写真学校長)

●賞:最優秀賞 1点 賞金 5万円
優秀賞 2点 賞金 2万円
入選 7点 記念品

●応募先・問合せ先:三重県立熊野古道センター フォトコンテスト係
〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4
TEL:0597-25-2666 FAX:0597-25-2667
HP:http://www.kumanokodocenter.com

応募方法、その他詳細は三重県立熊野古道センターのホームページをご覧ください。

和歌山県 **世界遺産センター** からのお知らせ

新緑が美しい季節になりました。熊野古道へ国内外から多くの方がお見えになり、当センターもご利用いただいております。また、4月5日には下記のように多数の団体の皆様に道普請にご参加いただきました。

世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」といわれます。世界遺産を通じて人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことで、平和へつなげることも世界遺産の大切な役割の一つです。その世界遺産の一つ「紀伊山地の霊場と参詣道」の「良好な保全」及び「適切な活用」が円滑に進むよう当センターでは、世界遺産セミナーを開催しています。次回の第2回世界遺産セミナーでは、中近世に建立された田辺から本宮にかけての建造物について講演を行う予定になっています。

※参詣道保全活動及び世界遺産セミナーに関するお問い合わせは、和歌山県世界遺産センター(0735-42-1044)までお願いします。

平成29年度 世界遺産セミナー(予定) 参加費 無料

7/1(土) 13:00~15:00

内容:中近世に建立された田辺から本宮にかけての建造物
講師:川戸 章寛(和歌山県教育委員会 文化遺産課 主査)
寺本 就一(和歌山県文化財センター 研究員)
場所:上富田町岩田公民館(和歌山県西牟婁郡上富田町岩田1765)

平成29年4月・5月の道普請参加団体(敬称略)

株式会社セルスフォース・ドットコム・株式会社ケネスト・JT+熊野で健康ラボ熊野古道を歩く道普請の仲間たち・南海電気鉄道株式会社・株式会社ユニ・サントリー酒類株式会社・KDDI・富士古河E&C株式会社・三菱電機冷熱システム製作所・三菱東京UFJフィナンシャルグループ

「道普請」とは 文化財保護専門職員による指導のもと、参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていたり、ボランティア活動・CSR活動として、毎年、多くの皆さまに参加していただいております。

和歌山県世界遺産センター TEL.0735-42-1044 までお問い合わせいただけます。
住所:和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 FAX:0735-42-1560 E-mail:e0624002@pref.wakayama.lg.jp

講座・講演

6/25(日) 講演会 **峰入 ~大峯入峰修行の世界~**

世界遺産吉野大峯活性化事業実行委員会が作成した『峰入 大峯入峰修行』の記録映像の視聴をとおり、峰入修行の民俗信仰を探ります。

時間:午後1時30分~午後3時 受付期間 ~6/24(土)
入場料:無料 定員:100名(要申込、先着順)
場所:映像ホール 講師:池田 淳氏(吉野町教育委員会事務局主幹兼吉野歴史資料館長)

8/20(日) 講演会 **赤木城をはじめとする熊野のお城**

今年、「続日本100名城」に選ばれた赤木城や、かつて熊野市内にあったお城について、その特徴や歴史の解説の他、お城の魅力などをお話いただきます。

時間:午後1時30分~3時 受付期間 7/20(土)~8/13(日)
参加料:無料 定員:80名(要申込・先着順)
場所:映像ホール 講師:和田 利信氏(熊野市文化財専門委員)

9/9(土) 講演会 **熊野の深い魅力 ~スサノオの熊野とアマテラスの伊勢~**

記紀神話に登場する二神を祀っている信仰スポットとしての熊野と伊勢の持つ魅力についてお話しします。

時間:午後1時30分~3時 受付期間 8/9(土)~9/8(日)
参加料:無料 定員:80名(要申込・先着順)
場所:映像ホール 講師:池田 雅之氏(早稲田大学教授)

新しい古道の歩き方

7/2(日) 熊野古道 始神峠道を歩く~江戸道・明治道巡り~

熊野古道伊勢路でも松本峠と並んで景勝の地として知られる始神峠。今回は始神峠から広場から明治道・江戸道を一周する約5kmのコースを歩きます。

時間:午前10時~午後2時 雨天の場合は7/9(日)に延期
参加料:500円(保険代含む) 定員:20名(要申込・多数の場合抽選)
場所:紀北町 案内人:西村 功氏(熊野古道語り部友の会会員)

日曜わくわくものづくり体験教室 事前申込不要!

東紀州で活躍中の職人や工芸家を講師に迎えて、毎週日曜日に開催している体験教室です。事前予約不要で、小さいお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

時間:午後1時~3時受付
参加料:300円~(※体験により異なります)
場所:交流棟ロビー
講師:大形 弥生氏、村川 実氏、竹内 健悟氏、中井 智章氏、吉田 誠人氏、熊野古道センター職員

詳しくは熊野古道センターHPでご確認ください。

体験教室

6/25(日) ① 相可高校で本格スイーツ作り

東紀州の旬の食材や特産品を使った大人気の料理教室です。季節に合ったレシピを紹介します。調理のコツや裏ワザだけでなく、東紀州の食材について学べるのもこの教室の魅力です。楽しく学んだ後は、みんなで美味しくいただきます。

時間:①午前11時~②午前10時~ 受付期間 ①6/18(日) ②8/3(土)~8/27(日)
参加料:2,000円 定員:①30名 ②24名(どちらも要申込、応募多数の場合抽選)
場所:①県立相可高校 ②熊野古道センター体験学習室
講師:村林 新吾氏(三重県立相可高校食物調理科教諭)

9/3(日) ② スタミナ豚肉料理で残暑を乗り切ろう!

熊野古道自然学校

見つけよう! 不思議な海の生きものたち 7/22(土) 磯の観察会

潮の引いた海辺で、ヤドカリ・イソギンチャク・カイメンなど、様々な海の生きものを観察します。

時間:午前10時~正午 雨天・高波の場合は翌日に延期
参加料:500円(保険料を含む) 定員:20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象:小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所:尾鷲市行野海岸(集合:熊野古道センター)
講師:栗藤 和治氏(日本自然保護協会自然観察指導員)

夏休み 思い出づくり 教室

夏休みの思い出に、また自由研究の手助けとして、ものづくり体験教室を開催します。自ら考え、自ら作業し、記憶に残る作品を作りませんか?

8/11(金) ヒノキとサクラ材で木琴を作ろう!

時間:午前10時~正午 受付期間 7/11(土)~8/4(日)
参加料:500円 定員:20名(要申込・応募多数の場合抽選)
講師:熊野古道センター職員
対象:小学3年生~中学生

8/12(土) 思い出 オルゴール箱作り

時間:午前10時~正午 受付期間 7/11(土)~8/4(日)
参加料:1,500円 定員:20名(要申込・応募多数の場合抽選)
講師:熊野古道センター職員
対象:小学3年生~中学生

8/13(日) 木製風鈴作り

時間:午後1時~3時受付 受付期間 7/11(土)~8/4(日)
参加料:500円 定員:20名(要申込・応募多数の場合抽選)
講師:中井木工 中井 智章氏
対象:どなたでも

期間中、紙ヒコーキ作り体験を開催します! 当日受付